

研究実施のお知らせ

2026 年 6 月 15 日 ver.1.1

研究課題名

尿中 Titin はサルコペニア・身体機能障害および生命予後を予測するバイオマーカーか

研究の対象となる方

島根大学地域包括ケア教育研究センター（CoHRE）の研究参加（2026 年 6 月以降）に同意された方のうち 50 才以上である方。

研究の目的・意義

サルコペニアは、加齢に伴う筋力や筋量の低下を特徴とし、転倒、要介護、死亡などに関連する重要な疾患です。しかし現在の診断には身体機能測定が必要であり、健診現場で簡便に評価できる方法は十分に確立されていません。

近年、骨格筋由来タンパク質である Titin の分解産物（尿中 Titin N フラグメント）が筋障害を反映するバイオマーカーとして注目されています。本研究では、尿中 Titin がサルコペニアの診断および将来的な発症予測に有用であることを明らかにすることを目的としています。

本研究により、健診で実施可能な非侵襲的尿検査によるサルコペニア早期発見法の確立が期待されます。

研究の方法

本研究で使用する既存試料・情報は全て「島根大学地域包括ケア教育研究センター (CoHRE) が実施する『島根県内の住民健診を活用したバイオバンク：試料・情報の収集と提供に関する事業（20260401-1）』」から入手して解析を行います。利用する情報は、年齢、性別、既往歴、身長、体重、BMI、握力、歩行速度などの身体機能評価、血液・尿検査データ、要介護認定、死亡などに関する情報です。また、尿検体を用いて尿中 Titin N フラグメント濃度を測定します。

本研究のために新たな侵襲的検査は行いません。尿中 Titin 測定については、前処理後に凍結保存した尿検体を共同研究機関である神戸常盤大学へ郵送し、測定を行います。

研究に用いる情報は、氏名、生年月日など個人を直接識別できる情報を削除し、研究用 ID を付与したうえで、識別できない状態にして使用します。データはパスワード管理された PC および外部記録媒体に保存し、研究関係者のみがアクセス可能な環

境下で保管します。

研究の期間

2026 年 07 月 16 日 ～ 2032 年 3 月 31 日

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際に、対象者の氏名など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部臨床検査医学講座 矢野 彰三

既存の試料・情報の提供のみを行う機関

[提供機関]

[提供担当者]

「機関の長」

島根大学地域包括ケア教育研究センター

安部孝文

磯村 実

試料（検体）・情報の利用停止

自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、本人または代理人から申し出ることにより利用を停止することができます。

なお、利用停止の申し出は 2027 年 12 月 31 日までといたします。それ以降は解析・結果公表のため、情報の削除ができない場合がございます。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部臨床検査医学講座 矢野彰三

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話(FAX) 0853-20-2409